



～街の社長の名言～



融資をする立場から、経営者に寄り添って経営相談・支援する立場となって2年半が過ぎました。皆様の応援のおかげで、なんとか生き残っています。経営相談の仕事をしている醍醐味は、たくさんの経営者や創業者の方の生き様を知ることです。街の社長の言葉に心を打たれ、感銘を受けることが多々あります。著名な社長・経営者の言葉ではなく、身近な社長の言葉にも、等身大の苦労や実感がたくさん詰まっています。その中から、いくつかご紹介いたします。

「創業は、天職を預かる究極の生き方」

一代で事業を立ち上げ苦労をされたベンチャー企業の社長の言葉です。天職だと思える仕事であればこそ、熱意を持ち続け、没頭して事業に取り組み、結果として成果・成長に繋げておられました。起業に向けて不安を抱える人に、勇気を与える言葉です。

「呑んで飯食うんやったら、地元を落とさなアカン」

大阪市の商店街で、長くクリーニング業を営む社長の言葉です。街に暮らし、街の人を相手に商売をするということの本質を表す言葉だと思います。この気持ちをたくさんの方が持ち続けられれば、日本の街は少しずつ潤い、元気になるのではないのでしょうか。

「私に強みがあるとすれば、絶対にあきらめないこと。」

ネット通販を営まれる社長は、3年前厳しい経営状況でしたが、V字回復を果たされました。大変な苦労がありましたが、口にされるのは顧客や取引先、金融機関など、まわりの方への感謝の言葉ばかりで謙虚です。「一つだけご自身のことを何か。」とお願いしたときに出た言葉です。小企業経営者の真髄を表す言葉だと感銘を受けました。

最後は、中小企業を経営して、私を育て上げ、今年の4月に亡くなった父が30年前に発した言葉で、私が今でも覚えている言葉です。

「お前も将来幸せになりたければ、お母さんのような人を探して結婚しろ。」

中小企業経営をする上で欠かせない、内助の功を發揮した私の母への感謝と愛情のこもった言葉です。昭和一桁生まれの父は、照れ屋ゆえ母を直接労ったり感謝を伝えたことがほとんどなかったようですが、本心はしっかりと感謝し、愛していたことがわかります。

一方の母は・・・「商売をしているうちはお金のことで悩まない月末はなかった。」と良い思い出はない様子（苦笑）。これもまた真実の言葉です。資金に悩む社長夫婦の不安を少しでも和らげる。やはりこれこそ私のライフワーク・ミッションです。

株式会社大永コンサルティング 代表 永井俊二（中小企業診断士）
大阪府よろず支援拠点コーディネーター・大阪商工会議所 専門相談員
大阪産業創造館 あきない経営サポーター・堺商工会議所 創業・経営専門相談員

こんなにも変化してきた韓国ビジネス・マナー

韓国企業の「社員及び管理職研修」のセミナー講師をして十数年が経過をしました。厳しいビジネス環境となり誰もが努力と工夫をしながら頑張っている状況です。長年の韓国ビジネス状況を体験し視察をしながら、いつも強く感じるがあります。こんなに身近で交流できる国は、日本から3時間ほどで行くことができる国、韓国です。韓国へ出張に行ったり、韓国人と仕事を共にする機会がある方もいると思います。韓国は儒教の精神に基づくルールがあるため、日本とは異なるマナーが数多く存在しますから、しっかりと認識して心得る必要が大切になります。そのことを最初しっかりと理解することが大切になります。ビジネスで韓国企業を訪問する際には、強く意識する礼儀があります。地位や年齢が下の者が先に頭を下げ、目上の者が手を差し伸べるまで待ちます。握手を交わす際は、左手を添えるとより丁寧なあいさつとなります。日本と同様に、韓国のビジネスシーンでも初めて会った人とは必ず名刺交換を行います。その際注意すべき点は、相手の役職や名前の読み方です。韓国人の名前は、日本人にとって読み方が難しいことが多く、発音も難しいです。そのため、名刺交換のタイミングで名前や役職の読み方を聞くといいでしょう。

韓国は上下関係が非常に厳しいため、役職を知ることは韓国人と仕事をする際に重要になります。そのため名刺に書かれた役職はしっかり把握して、覚えるようにしてください。また、こちらから渡す名刺にも役職は必ず明記するようにしましょう。韓国は儒教の国であるため、年長者や目上の人を大切にします。韓国人と仕事をする際、上下関係は最も注意を払うべきポイントの1つです。日本とは違い韓国の会社では、外部の人に自分の会社の上司を説明する際でも敬語を使用します。例えば、商談中相手が自分と同程度の役職であっても、年上だった場合は常に敬意を表すことを心掛けてください。また、相手をお呼ぶ際は必ず敬称を付けます。日本語の「様」にあたる言葉は、韓国語で「任(ニム)」です。相手をお呼ぶ際は「肩書き+任」または「名字+肩書き+任」と呼ぶようにしましょう。

日本のビジネス環境と同じで、お互いの交流を深めるため、贈り物は一般的に行われます。こちらから贈り物を渡す場合、日本のお土産などが喜ばれますが、相手が年配の方の場合は日韓関係に対する感情を害する恐れがあるため注意しましょう。また、相手の家族にも贈り物をするによって、より深い親しみを表現することができます。グループ全体に贈り物を渡す場合は、上司と部下とで品物を変えましょう。グループの中で1番上の方に、最も高価なものを贈るようにしてください。日本のビジネスも接待は大切です。韓国では、接待や会食はビジネスの関係を構築するために必須であると考えられています。そのため、接待や会食でのマナーに注意しましょう。座席の上座・下座のマナーは日本と同様です。入り口から最も遠い奥の席が上座です。1番目上の方が上座に座ったら、その周辺にホストが座るようにします。お酒は、目上の方が飲み始めるまでは決して口をつけてはいけません。これは料理も同様です。また、韓国ではグラスにお酒が残っている際に注ぎ足すのはマナー違反になります。お酒を注ぎ足す行為は法事で行われる行為であるため、必ずグラスが空になってから注いでください。また、一般的に女性はお酌を行わないため注意しましょう。韓国では、茶碗をテーブルから持ち上げて食べるのはマナー違反です。必ず置いたまま食べましょう。一般的にご飯やスープを食べる際はスプーンを使用します。接待の費用については、お互いの体面を保つためどちらが支払うかと、話題に出されることもあります。基本的には招待した側が支払うのが韓国でのビジネスマナーです。上下関係を重んじる韓国では、ビジネスマナーにもその影響が大きく反映されています。日本人とは異なるマナーをもつ方と仕事をするという意識を常に持ちながら、相手の文化や考え方を尊重することが大切です。韓国人と友好的で有意義な関係を保てるよう、韓国のビジネスマナーを事前に把握して接するようにしましょう。

世界一の資産家ビル・ゲイツと孫正義の生き方

2017年度の世界長者番付でビル・ゲイツは10兆円弱(860億ドル)で1位、日本一の孫正義は約2.4兆円(212億ドル)で35位であった。

この2人はどのようにして1代で巨額な資産を獲得したのだろうか。

ビル・ゲイツはコンピューターに魅せられた天才的な少年であったが、かねがね「二十歳になる前に百万長者になりたい」と言っていた。彼はその夢をどのようにしてかなえたのだろうか。それは大型コンピューターしかなかった時代にこれから、家庭用の小型のPCが必ず普及するとまず見抜きマイクロソフト社を創業したことである。それでIBMがPCを売り出した時に、この時にハードよりもソフトが重要と考えMS-DOSと言うOS(オペレーションシステム)をIBMにはタダ同然で提供し、それを業界標準にした。このソフトをIBM以外の会社に販売することでこれが爆発的に普及し多額の収入を獲得した。その後誰もが使いやすいWindowsシリーズのソフトを次々と開発しPCの世界のソフト市場のリーダーになったことである。彼の財産は大株主のマイクロソフト社の成長により、築かれたもので殆どが同社の株式でITのソフトの普及で獲得したものである。



それに対して、孫正義はソフトの卸売事業に始まり、ゲーム機の販売、出版事業、Yahoo、金融、証券市場、固定通信事業、野球球団運営、中国やアメリカでの携帯電話事業、ブロードバンド事業などを経営した。最近ではファンドを作り各国の多種、多様な会社への投資を繰り返し財を築いており、ソフト一筋のビル・ゲイツとは好対照であるが、抜群の先見性と巧みな商才を所有していたことは両者共通している。

このようにして築いた巨額の財産をビル・ゲイツはメリнда・ビル・ゲイツ財団(363億ドル、約4兆円)を作り、死ぬまでに財産の95%を慈善事業に寄付すると言っており、孫正義も東日本大震災の時に個人資産100億円を寄付している。

太成学院大学 経営学部長 教授 釣島平三郎

第3回GTE(Global Technology Entrepreneur)

2018・イノベーションチャレンジのビジネスプラン発表会が和歌山市で開催されました!

高校生時代から技術を生かし事業化する楽しさと喜びを知り、世界で通用するベンチャーの教育を実践する目的で(一社)カピオンエデュケーションズ代表理事 曾我弘氏と理事 能登左知氏が中心となり今年も和歌山市のホテルグランビア和歌山で尾花和歌山市長も来賓参加されての開催となりました。

6チーム25名による最終日の発表会は8月3日(金)に国内外の高校生が若いエネルギーで熱く、すべて英語でプレゼンされました。それ迄の4日間は初めて会ったメンバーとチームづくりやビジネスモデルの構築などシリコンバレーから来日された高校教師で公認会計士のジャストン・グラス先生を中心にシリコンバレー流を徹底指導されました。

VECからも市川理事長、黒田総務企画局長がサポートさせて頂きましたが、これを機に若き起業家が輩出されることを切に願っております。

記・VEC関西支部 事務局



(参加の高校生とスタッフ)



(市川理事長から表彰)

※女性起業家応援プロジェクト「LED関西」ビジネスプラン発表会は2019年1月25日(金)の予定です。
応募、参加など、ご関心のある方はinfo@ledkansai.jpでご確認願います

～VEC関西より～

- ・VECが1975年創設されて、すぐからお世話になって今年で43年になります。私が35歳の頃です。当時、百々先輩や青山さんなど先輩が沢山おられ、ベンチャーという言葉も未だできていないところでした。新しいビジネスの誕生を目指しVECからも時代をリードするベンチャーをどんどん生み出したいものです。(本田)
- ・近畿直撃の台風21号の爪痕もまだまだ見られます。我が家は大丈夫でしたが、そこら中の波板や木が折れていたのはビックリしました。台風が通り過ぎたら近所の人々が一斉に出て来て皆で「凄かったね!」と・・・お互いの被害確認をしたりと、改めて災害の時の近所付き合いの大切さを感じました。しかし我が家に飛んできた破片はどこから来た物なのか未だに判らず?(藤本)
- ・二ヵ月前からウォーキングを再開しました。今年の夏は日中暑くて周囲からは熱中症を心配されましたが体調を見て無理のないようにしています。今回はウォーキングだけではなく公園の遊具の鉄棒にぶら下がり周

りの目も気にせず肩こり軽減等自己流ストレッチも加えました。これからは心地良い季節に変化して行くこともあり継続は力なりを目標に頑張りたいと思います。(濱本)

- ・超猛暑の夏にも拘らずご活躍の分野につきましてご寄稿頂きました。皆様有難うございました。今年もあと3ヶ月となり、目標と実績のフォロー時期ではありますが最近読みました書物で、ナイキを創ったフィル・ナイト氏の著「SHOE DOG」は創業から現在に至るまで、まさにベンチャー精神溢れる内容で当時のオニツカや日商岩井との関わりも深かったことに感動しました。(澤村)

<交流会の予定>

平成30年11月21日(水) 大阪府・大阪市IR推進局 様
(説明会)